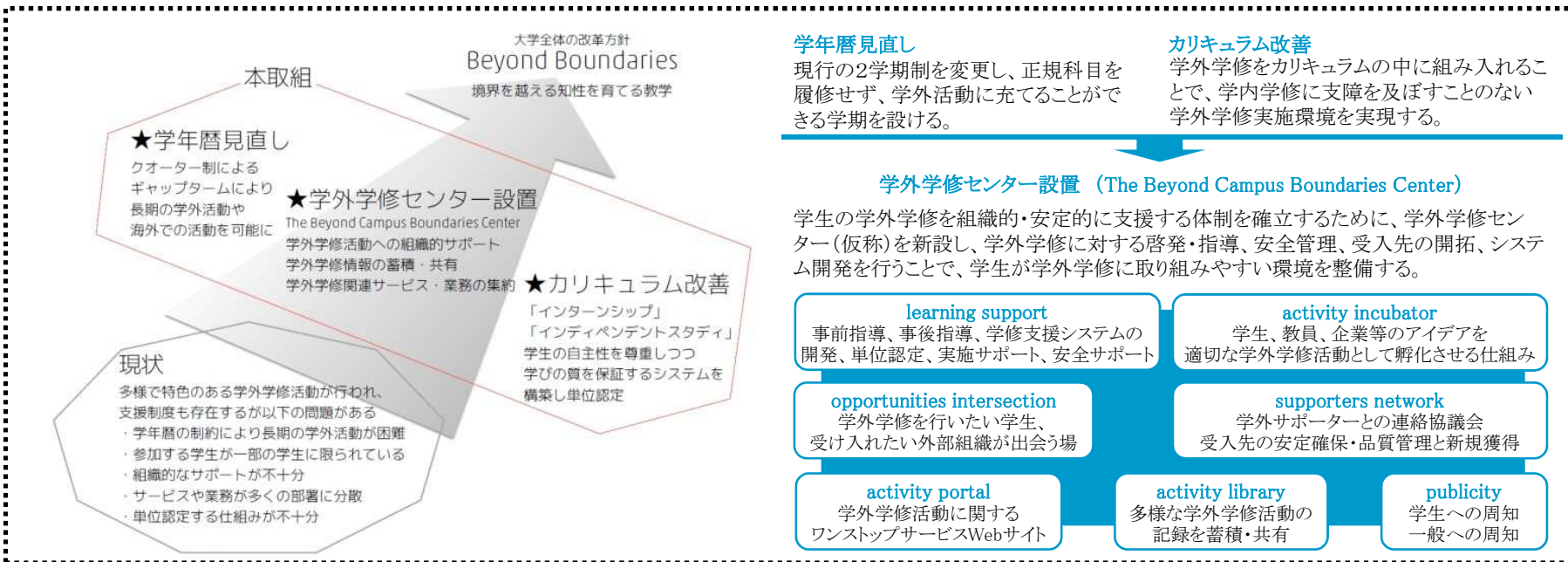


大学等名：津田塾大学

テーマ：テーマⅣ（長期学外学修プログラム（ギャップイヤー））

本取組は、本学が培った女子リベラルアーツ教育の伝統を、平成24年の中央教育審議会答申が求める「大学教育の質的転換」に重ね合わせ、留学、インターンシップやボランティア等の学外学修の機会をより多くの学生に与えようというものである。

リベラルアーツ教育の中に学外学修活動をバランスよく取り入れ、その相乗効果をマキシマイズし、かつそれをより多くの学生が享受できるようにすべく、以下の改革事業を段階的に実施する。



【事業の成果】	26年度 (実績値)	27年度 (目標値)	29年度 (目標値)	31年度 (目標値)
長期学外学修プログラムに参加する学生の割合	0%	—	5%	25%
学生の授業外学修時間	—	—	21時間	21時間
学生が企画する活動数	0件	—	5件	20件

本取組は、現在、本学が進めている「リベラルアーツ」の現代化(Beyond Boundaries構想)に寄与しうるものであり、学生にキャンパス内で学ぶ学問の境界を超えた広い教養を身に付けさせることで、学生の新たな思考力と創造力の育成を推進し、学内学修が育む高い専門性とのシナジー効果を生み出す。加えて、学外学修により高められる主体性を原動力に、自立した女性として、ゼミ、サークル活動、ひいては地域社会、日本社会、国際社会のエンパワーメントに寄与しうる女性の育成を実現する。